

## 裁判員経験者の意見交換会 開催概要

- 経験者①：50代男性（殺人事件で裁判員）
- 経験者②：40代女性（現住建造物等放火未遂事件で補充裁判員）
- 経験者③：60代男性（強制わいせつ致傷事件で裁判員）
- 経験者④：70代女性（殺人、死体遺棄事件で裁判員）
- 経験者⑤：30代男性（殺人、死体遺棄事件で裁判員）



さいニャン



主だった質問とそれに対する裁判員又は補充裁判員を経験された方々の御意見・御感想をお届けします。

※ 以下の①～⑤の表記は、それぞれ裁判員経験者①から⑤の方々の発言を示しています。

### 裁判員を経験しての全般的な感想・印象について

- ① 担当する事件が殺人事件ということで、しっかりやらなければと思いながらやらせていただいた。すごく勉強になったと思う。
- ② 人前で話すことが得意な方でないがやってみたいなと思った。最後まで、ずっと緊張していて、聞くことに集中し、感情が入ってしまったりしたが、やってみて良い経験だったと思う。
- ③ 裁判や裁判所への関心や信頼を高めるきっかけとなるすばらしい制度だと思った。裁判員が、一生懸命考えて良い結果に導こうと努力している姿に感動した。
- ④ 高齢だが、一度経験してみたいと常々思っていたので、選ばれた時にはうれしかった。当事者の環境や考え方がそれぞれある中で、第三者の私が量刑を判断することの難しさを改めて感じた。
- ⑤ 参加して良かった。機会があればまた参加したい。不安が多かったが、資料が分かり易く、特に負担なく参加できた。

### 参加する前に負担に感じていたことについて

- ①⑤ 有給休暇を取得することも考えたが、勤務先が理解してくれ、特別休暇を取得することができた。
- ②③④⑤ 法律について知識がない自分が正しく判断できるか不安だった。

## 実際に参加して負担に感じたことについて

- ① 精神的な負担が大きいかと思っていたが、負担を感じなかった。
- ② 感情が入りすぎてしまい、冷静な判断が難しかった。  
自分の意見を言うことが苦手だったが、勉強になり良い経験になった。
- ③ 他の裁判员と考え方や視点が違っていて、自分が正しい判断をしているか悩んだ。専門用語の解釈に時間がかかった。後になって、裁判の中でもっと質問しておけば良かったと思うこともあった。
- ④⑤ 裁判長や裁判官が、私たちの話を良く聞いてくれ、丁寧に説明や助言してくれたので、負担に感じたことがなかった。
- ⑤ 何が本当なのか分からなくなって、誤った考えで判決を出したらどうしようと思ったこともあったが、日を追うごとに負担を感じなくなった。

## より多くの方に裁判员として参加していただくために、どのような点を改善すべきか

- ①～⑤ より幅広い積極的な広報が必要。
  - ・学校や企業に対する制度説明
  - ・テレビによる日常的な周知や人の集まる場所でのポスターやチラシによる周知

## これから裁判员になられる方へのメッセージ

- ① 勤務先の同僚や18歳の若い方にも、是非経験すると良いと話している。経験してみないと分からないことがたくさんあるので、候補者になったら辞退しないで、是非やってほしいと思う。
- ② 裁判を通して、今まで考えなかったことを色々考えさせられた。私が経験したことで、子供たちも興味を持つようになり、良かったと思っている。
- ③ 不安や負担がすぐに解消されるので、何も心配する必要はない。自分磨き、人生の大きなチャンスになるかもしれないので、是非参加してほしいと思う。
- ④ 最初は不安に思うかもしれないが、裁判長や裁判官がリードしてくれて、全然不安がないので、是非参加してほしいと思う。
- ⑤ いろんなフォローがあり、日程についても全く不安に感じることもなく、参加したことで自分の中の考え方が変わったり、自分磨きになったと思っており、マイナスになることはないので是非参加してほしいと思う。

